

MICS/Pro

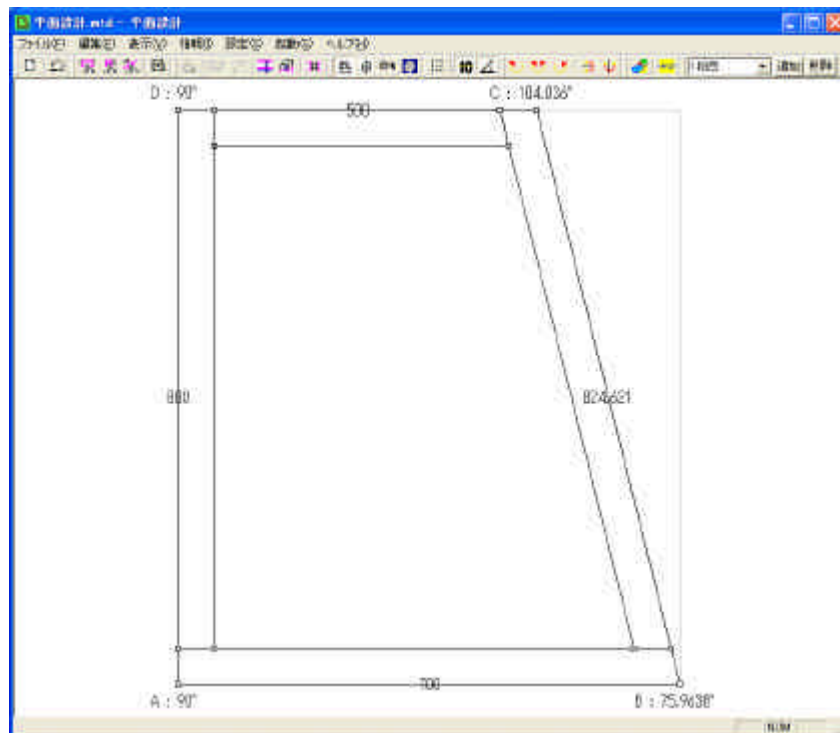
平面設計

ユーザーガイド

目次

平面設計機能説明.....	3
平面設計チュートリアル(さあ、やってみよう)	20

平面設計機能説明



ファイルメニュー

- [新規敷地作成]：新規に敷地を作成します。
- [開く]：既存のファイルを開きます。(拡張子：mtd)
- [上書き保存]：ファイルを上書きで保存します。
- [名前を付けて保存]：ファイルを別名で保存します
- [MBL生成]：フォルダを選択してMBLを作成します。
- [印刷]：現在の画面を印刷します。
- [印刷プレビュー]：印刷プレビューを表示します。
- [プリンタ設定]：印刷時のプリンタ設定を変更します。
- [送信]：ファイルを添付ファイルとして送信します。
- [アプリケーションの終了]：アプリケーションを終了します。

ファイル(F)	
新規敷地作成...	Ctrl+N(N)
開く...	Ctrl+O(O)
上書き保存	Ctrl+S(S)
名前を付けて保存(A)...	
MBL生成(M)...	
印刷...	Ctrl+P(P)
印刷プレビュー(V)	
プリンタの設定(R)...	
送信(D)...	
1 無題.mtd	
2 外柵.mtd	
3 外柵.mtd	
4 外柵1.mtd	
アプリケーションの終了(X)	

編集メニュー

[合口変更]：選択している敷地頂点の合口を変更します。

[回転：左回りに回転]：左回りに回転します。

[回転：右回りに回転]：右回りに回転します。

[回転：回転]：左回りに角度を指定して回転します。

[反転：X軸反転]：X軸に対して反転します。

[反転：Y軸反転]：Y軸に対して反転します。

[厚み変更]：選択部材の厚みを変更します。（部材を選択していない場合はすべての部材の厚みを変更します）

[高さ変更]：選択している部材の高さを変更します。

[頂点変更：頂点変更（座標）]：選択している敷地頂点の座標を直接入力して変更します。

[頂点変更：（頂点変更（距離））]：選択している敷地頂点の座標を前後頂点からの距離を指定して変更します。

[頂点追加：（頂点追加（座標））]：選択している敷地頂点の次に座標を直接入力して頂点追加します。

[頂点変更：（頂点追加（距離））]：選択している敷地頂点の座標の次に前後頂点からの距離を指定して頂点を追加します。

[次の部材を選択]：現在選択している部材の次を選択状態にします。

[前の部材を選択]：現在選択している部材の前を選択状態にします。

[選択部材の結合]：現在選択している部材を結合します。（選択している部材によっては結合できません）

[部材の分割]：すべての部材を長方形と三角形に分割します。

[石貼削除]：作成した石貼を削除します。



表示メニュー

[部材選択]：マウスクリックで部材が選択できるようにします。

[頂点選択]：マウスクリックで頂点が選択できるようにします。

[敷地頂点選択]：マウスクリックで敷地頂点が選択できるようにします。

[石貼エリア選択]：マウスクリックで頂点を選択し、石貼エリアを指定します。

[平面図]：平面図表示に切り替えます。

[外観図]：右斜め標準視点での外観図表示に切り替えます。

[目地]：外観図に目地を表示します。

[シェーディング]：シェーディングでの外観図表示に切り替えます。

[寸法表示]：敷地頂点間の寸法を表示します。

[角度表示]：敷地頂点の角度を表示します。



情報メニュー

[2点間情報]：選択した2頂点間の距離を表示します。

[部材情報]：部材の詳細な寸法を表示します。また、部材分割を行います。



設定メニュー

[初期設定]：平面設計の各種初期設定を変更します。

[部材単位初期値]：設計データ作成時の単位を指定します。

[1段目部材色]：設計データ作成時の1段目の部材色を指定します。

[2段目部材色]：設計データ作成時の2段目の部材色を指定します。

[3段目部材色]：設計データ作成時の3段目の部材色を指定します。

[4段目部材色]：設計データ作成時の4段目の部材色を指定します。



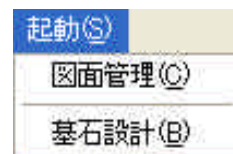
部材色は墓石設計で使用する色に対応しています。



起動メニュー

[図面管理]：平面設計から図面管理を起動します。

[墓石設計]：平面設計から墓石設計を起動します。



ヘルプメニュー

[バージョン情報]：平面設計のバージョン情報を表示します。



新規作成

Page1 形状選択

形状選択 A で大まかな形状を選択します。

台形：

どちらかの対辺が平行になる四角形を作成します。

四角形：

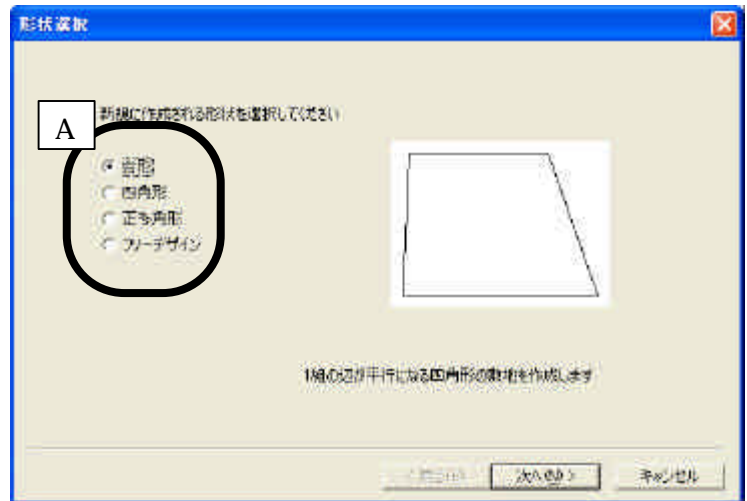
どの対辺も平行でない四角形を作成します。

正多角形：

正多角形を作成します。

フリーデザイン：

四角形以外の図形を作成します。



Page2 台形入力

台形の設定条件：左下から左回り（反時計回り）で各頂点を A,B,C,D とし、AB、CD が平行になる台形を作成します。

1．直角のある台形(長さ指定)

敷地を A が 90° の台形とみなし、寸法を入力し敷地を作成します。

AB,CD,DA を入力します。

2．直角のある台形（長さ、角度指定）

敷地を A が 90° の台形とみなし、寸法、角度を入力し敷地を作成します。

AB,DA,と BCx、BCy または、ABC のいずれかを入力します。

3．台形（長さ指定）

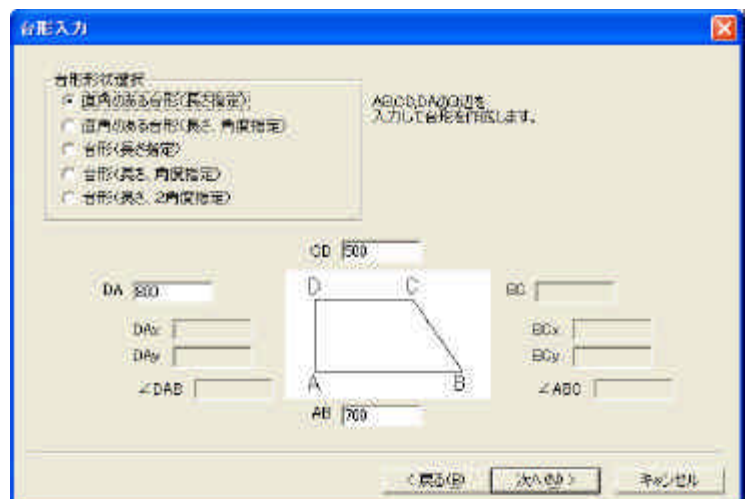
AB,BC,CD,DA を入力して敷地を作成します。

4．台形（長さ、角度指定）

AB,BC,CD と BCx、BCy が ABC のいずれかを入力し、敷地を作成します。

5．台形（長さ、2角度指定）

AB,CD と BCx、BCy が ABC のいずれか、DAx、DAy が DAB のいずれかを入力し敷地を作成します。



Page2 四角形入力

左下から左回り（反時計回り）で各頂点を A,B,C,D とします。

1. 直角のある四角形（長さ指定）

A を 90° として 4 辺を入力し敷地を作成します。

2. 直角のある四角形（長さ、角度指定）

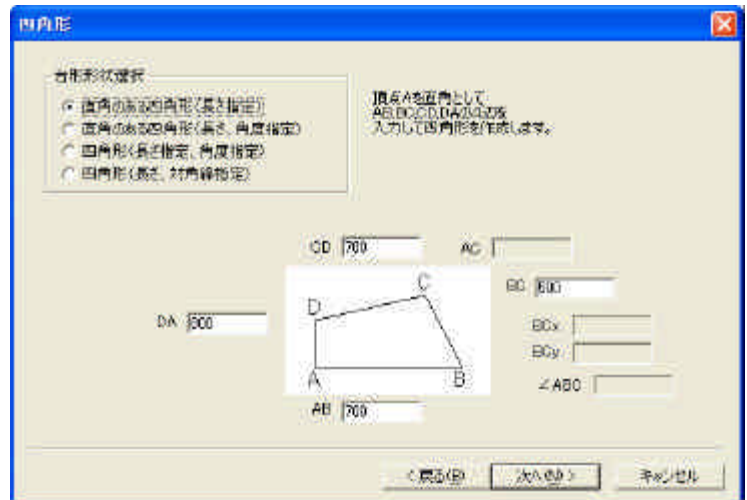
A を 90° として、AB,BC,DA と BC_x 、 BC_y 、 $\angle ABC$ のいずれかを入力して敷地を作成します。

3. 四角形（長さ指定、角度指定）

AB,BC,CD,DA と BC_x 、 BC_y 、 $\angle ABC$ のいずれかを入力して敷地を作成します。

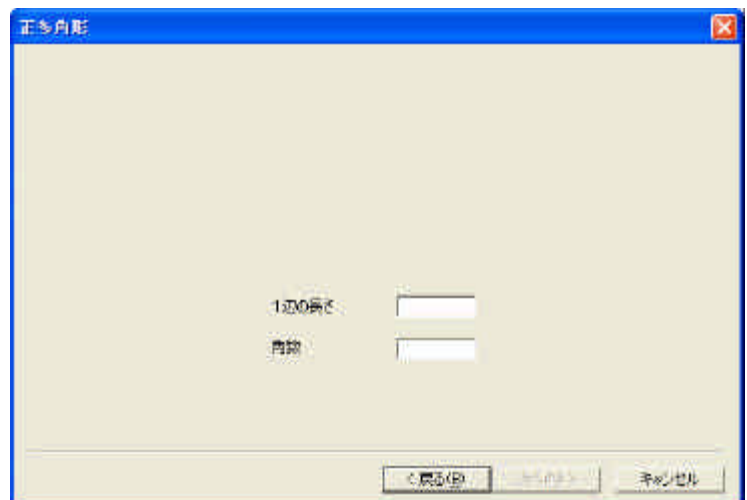
4. 四角形（長さ、対角線指定）

AB,BC,CD,DA と対角線長さ AC を入力し敷地を作成します。



Page2 正多角形

1 辺の長さを入力し、正多角形を作成します。



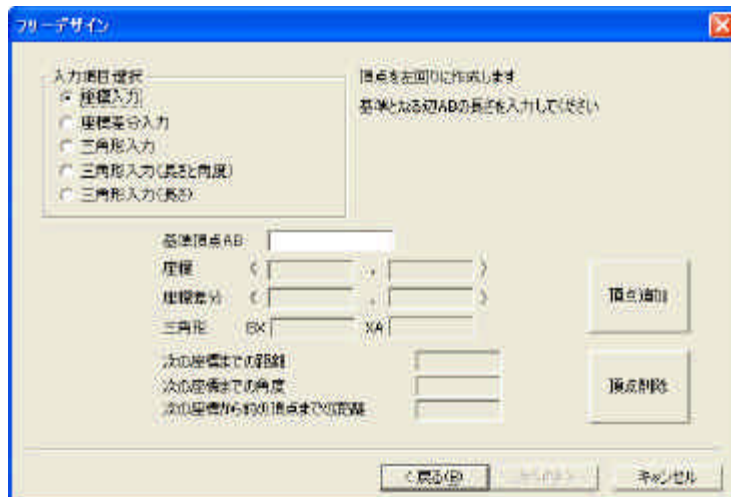
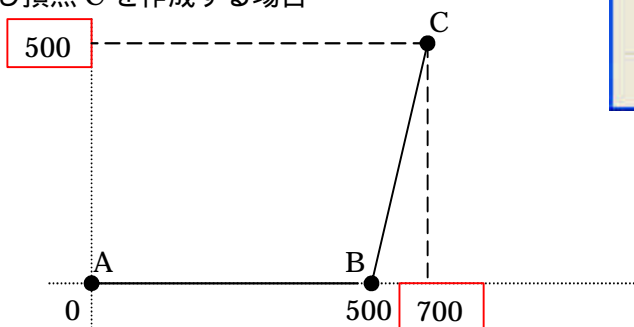
Page2 フリーデザイン

敷地頂点を左回りに指定して、敷地を作成します。

1. 座標入力

Aの座標を(0,0)として絶対座標を入力し、次の頂点を指定します。

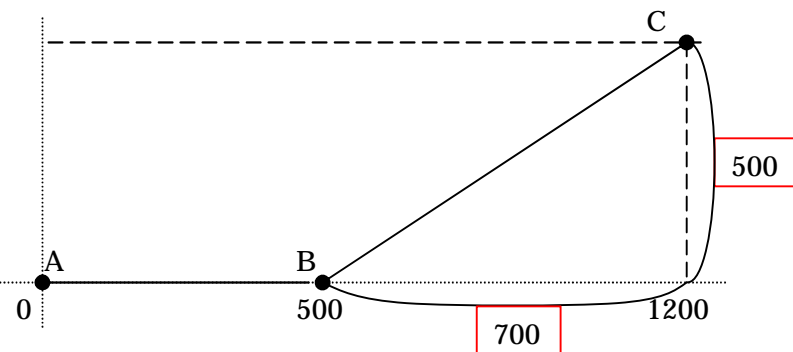
例、ABを500として座標(700,500)を入力し頂点Cを作成する場合



2. 座標差分入力

Aの座標を(0,0)として前の頂点(B)からの座標差を入力し、次の頂点(C)を指定します。

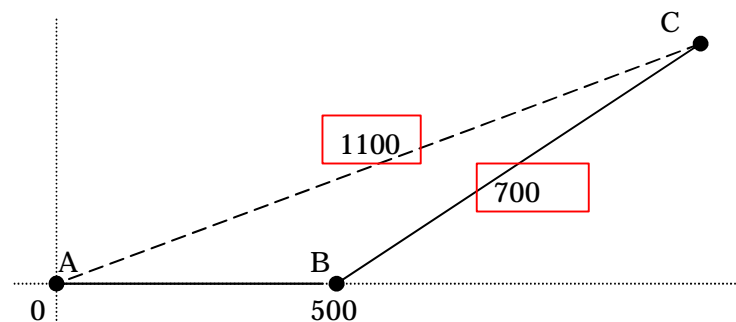
例、ABを500として座標差(700,500)を入力し頂点Cを作成する場合



3. 三角形入力

ABの長さを基準としてBとAからの距離で三角形を作成します。

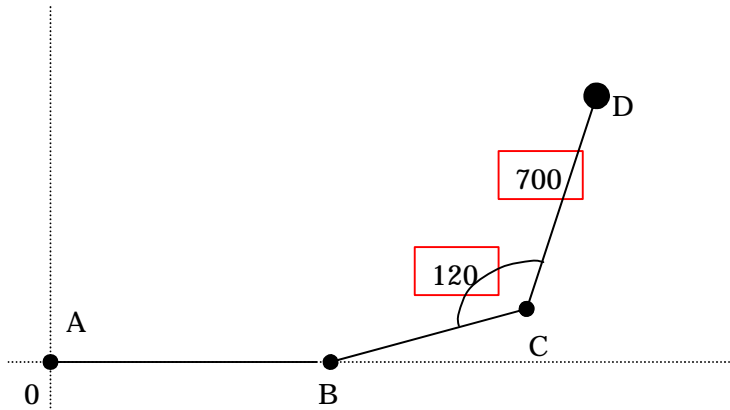
例、ABを500としてBC=700、CA=1100を入力し頂点Cを作成する場合



4. 三角形入力 (長さ & 角度)

次の頂点までの距離と、前の辺からの角度を入力して頂点を作成します。

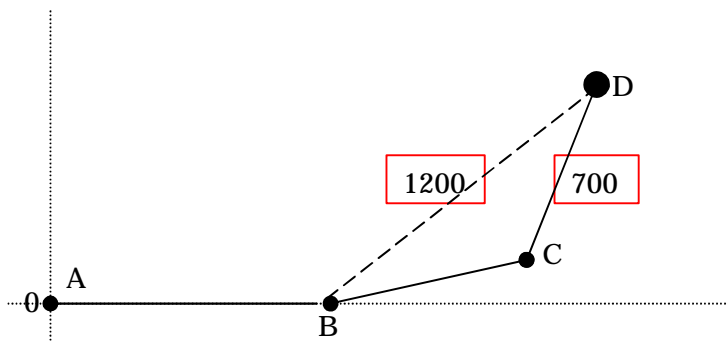
例、 $CD = 700$ 、 $BCD = 120$ を入力し頂点 D を作成する場合



5. 三角形入力 (長さ)

次の頂点までの長さと、前の頂点から、次の頂点までの長さを入力して頂点を作成します。

例、 $CD = 700$ 、 $BD = 1200$ を入力し頂点 D を作成する場合

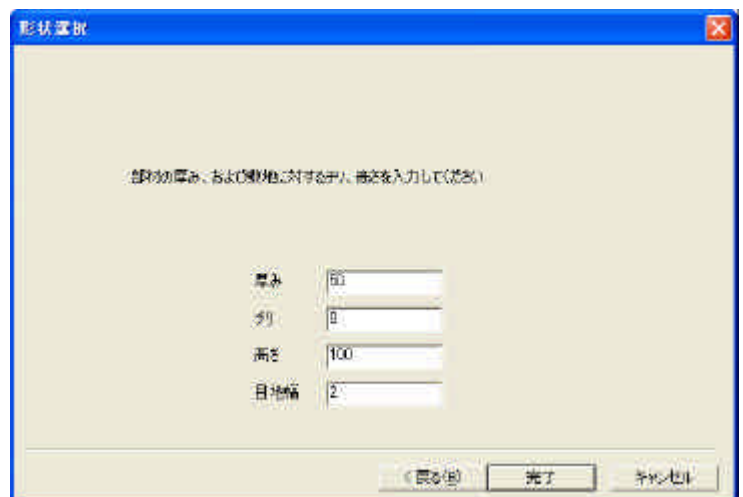


頂点追加ボタン: 追加したい頂点を作成し頂点追加ボタンをおすことで、その次の頂点の入力状態に進みます。

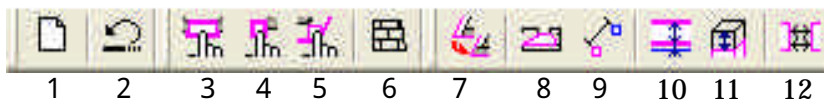
頂点削除ボタン: 直前に追加した頂点を削除します。

Page3 厚み入力

全体の厚み、チリ距離、部材高さ、合口の目地幅を入力します。



ツールバー



- 1 . 新規敷地作成ボタン
敷地を新規に作成します。
- 2 . 元に戻すボタン
直前の動作を元に戻します。
- 3 . 部材選択ボタン
選択モードを部材選択可能状態にします。この状態では、画面の部材をクリックすることにより、その部材を選択できるようになります。また、選択された部材は赤紫色で表示されます。
- 4 . 頂点選択ボタン
選択モードを頂点選択可能状態にします。この状態では画面の頂点部分をクリックすることにより、頂点を選択することができるようになります。また、選択頂点 1 点目は青色で、2 点目は赤色で表示されます。
- 5 . 敷地頂点選択ボタン
選択モードを敷地頂点選択可能状態にします。この状態では敷地頂点をクリックすることにより、敷地頂点を選択することができます。また、選択された敷地頂点の前の頂点と後の頂点を結ぶ線が赤紫色に表示されます。
- 6 . 石貼エリア指定ボタン
石貼をする場合の分割エリアを指定します。この状態では頂点をクリックすることにより、石貼エリアを指定できます。ただし、石貼エリアは 4 点で作成される四角形とします。
- 7 . 合口変更ボタン
敷地頂点を選択されている時にその頂点の合口の種類を変えることができます。また、連続してクリックすることにより、6 種類の中から合口の形を選択することができます。
- 8 . 部材詳細表示ボタン
部材が選択されているとき、その部材の詳細寸法を別画面に表示します。
- 9 . 頂点座標表示ボタン
頂点が 2 点選択されているとき、その 2 点間の距離、座標差を表示します。
- 10 . 厚み変更ボタン
選択状態により、対象の厚み、チリ距離を変更します。
- 11 . 高さ変更ボタン
選択状態により、対象の部材の高さを変更します。
- 12 . 部材結合ボタン
現在選択中の部材を結合します。ただし、選択している部材によっては結合できない場合があります。



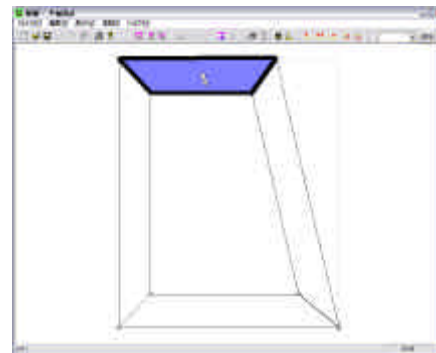


- 13 . 平面図表示ボタン
作成した敷地を平面図で表示し、編集可能にします。
- 14 . 外観図表示ボタン
作成した敷地を外観図で表示します。
- 15 . 外観図目地表示ボタン
作成した敷地を外観図で表示し、合わせて目地を表示します。
- 16 . シェーディング表示ボタン
作成した敷地をシェーディングの外観図で表示します。
- 17 . グリッド表示ボタン
画面にグリッドを表示します。
- 18 . 敷地寸法表示ボタン
敷地頂点間の寸法を画面に表示します。
- 19 . 敷地角度表示ボタン
敷地頂点の角度を画面に表示します。
- 20 . 左敷地回転ボタン
敷地を右側の辺が手前に来るように左回転させます。
- 21 . 角度指定敷地回転ボタン
敷地を角度指定して回転させます。
- 22 . 右敷地回転ボタン
敷地を左側の辺が手前に来るように右回転させます。
- 23 . X 軸反転ボタン
敷地を X 軸基準に反転させます。
- 24 . Y 軸反転ボタン
敷地を Y 軸基準に反転させます。
- 25 . 墓石設計起動ボタン
墓石設計を起動します。
- 26 . 図面管理起動ボタン
図面管理を起動します。
- 27 . レイヤ切り替えコンボボックス
作成されたレイヤの一覧を表示します。また、“全段表示”を選ぶことにより、すべてのレイヤを表示します。
- 28 . レイヤ追加ボタン
現在のレイヤを基準に新規にレイヤを追加します。
- 29 . レイヤ削除ボタン
現在表示されているレイヤを削除します。

部材選択


画面上の部材をクリックするとその部材が選択されます。

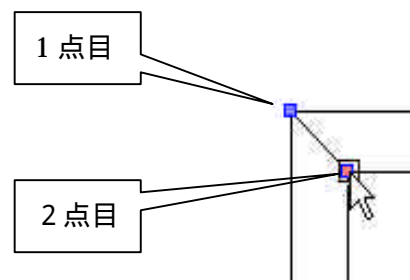
部材を選択した状態で部材詳細表示ボタンを押すことにより、選択された部材の詳細情報を確認したり、部材を分割できるようになります。また、Ctrl キーを押しながら部材を選択することにより複数個の部材を選択できます。



頂点選択

画面上の頂点をクリックするとその頂点を選択します。

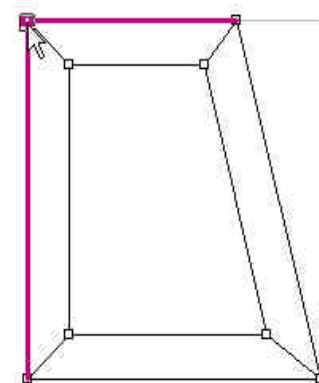
また、違う頂点を次にクリックした場合は2点目として選択されます。このとき、頂点座標表示ボタン  を押すと選択された2点の座標、2点間距離を表示します。



敷地頂点選択

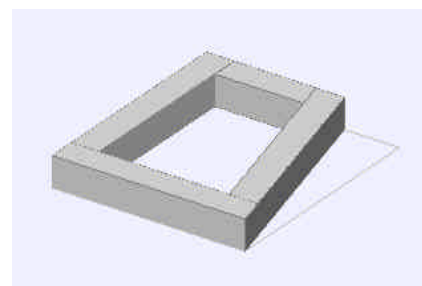
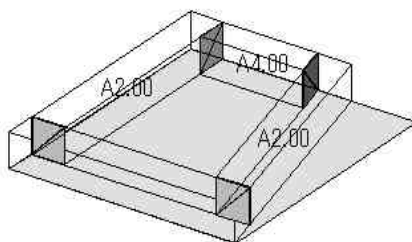
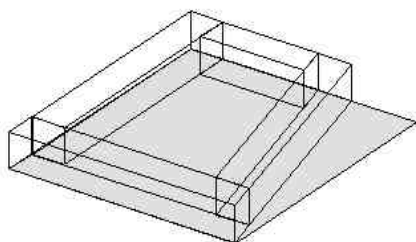
画面上の敷地頂点をクリックするとその頂点を選択します。

また、同じ頂点をさらにクリックすることにより合口の形状を変更することができます。



外観図表示

現在の敷地の外観図を表示します。また、選択するメニューによって目地なし、目地あり、シェーディングの3種類の外観図を表示します。

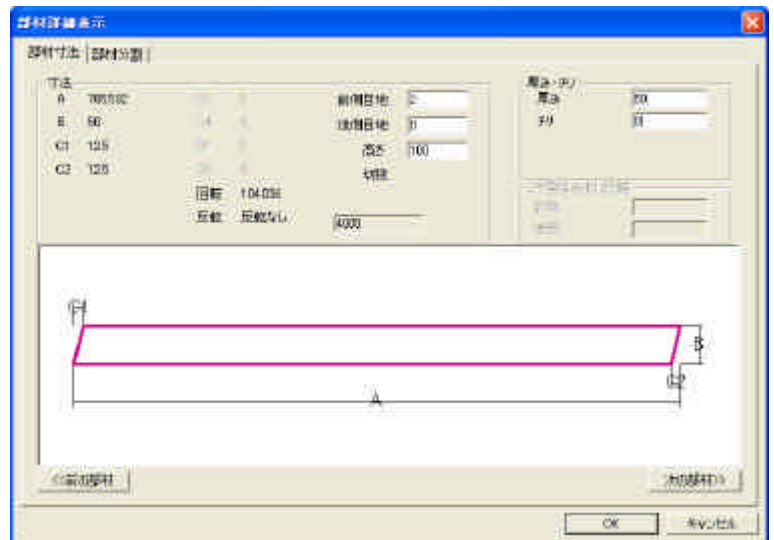


部材詳細表示

部材寸法ページ

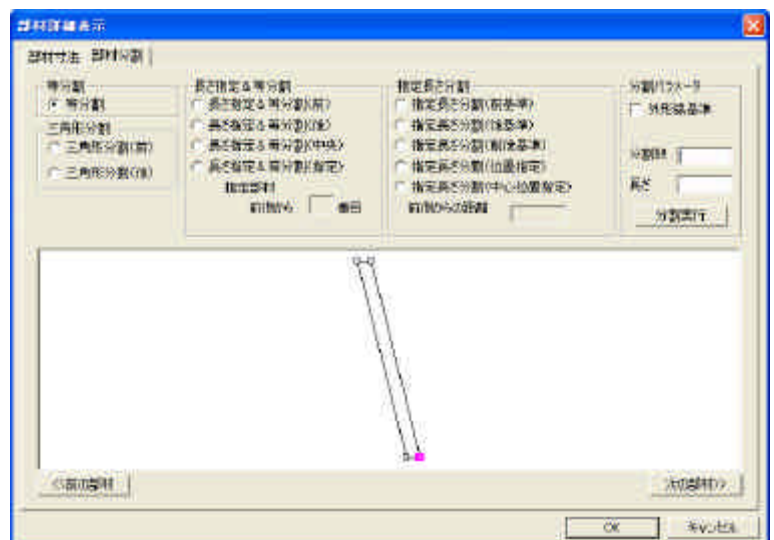
選択部材の詳細寸法が表示されます。

また、この画面では選択部材の前後目地幅、高さ、厚み、チリの値を変更することができます。

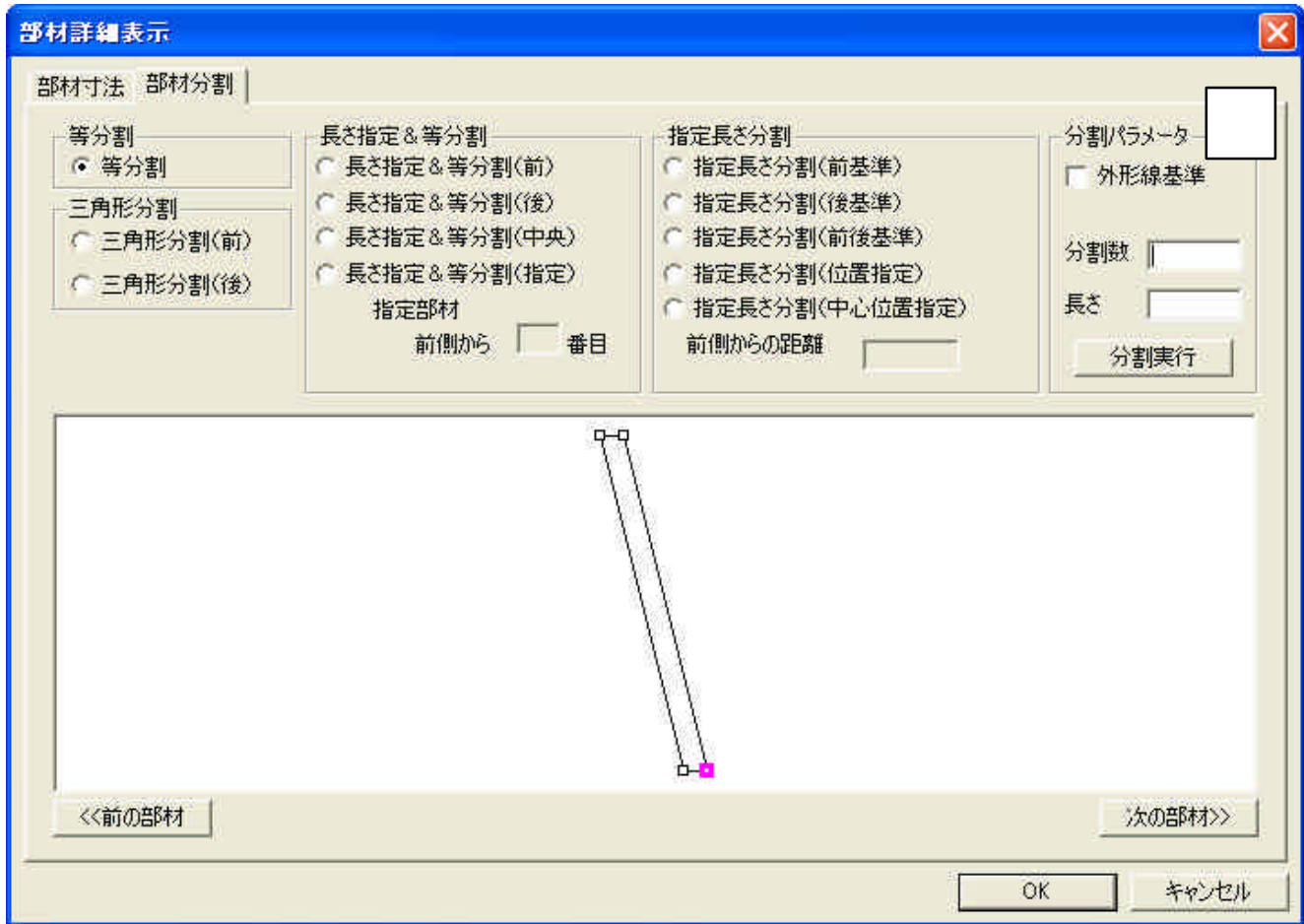


部材分割ページ

選択部材を分割することができます。

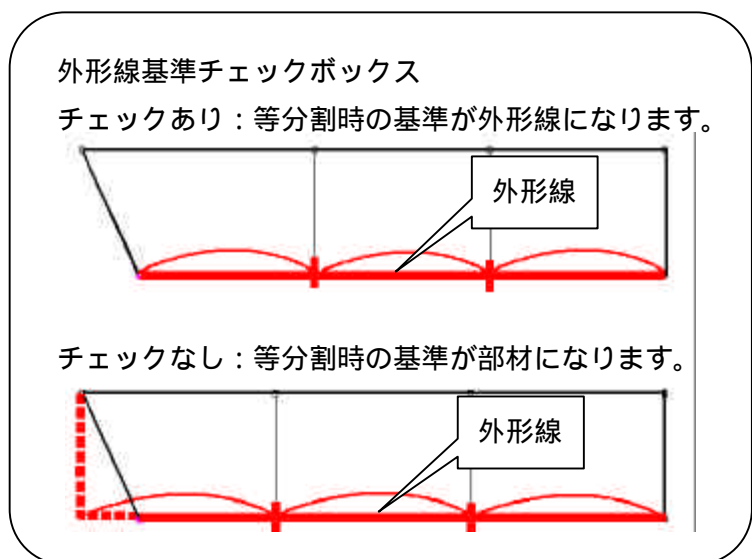


部材分割



分割パラメータ()に分割数、長さを入力し分割実行ボタンを押すことで部材を分割することができます。(ただし、分割数、分割方法によっては指定パラメータが反映されないものがあります。また、図中の紫色の頂点が前側の頂点(左回りで前側)となります。)

- 1 . 等分割
- 2 . 三角形分割(前)
- 3 . 三角形分割(後)
- 4 . 長さ指定 & 等分割(前)
- 5 . 長さ指定 & 等分割(後)
- 6 . 長さ指定 & 等分割(中央)
- 7 . 長さ指定 & 等分割(指定)
- 8 . 指定長さ分割(前基準)
- 9 . 指定長さ分割(後基準)
- 10 . 指定長さ分割(前後基準)
- 11 . 指定長さ分割(位置指定)
- 12 . 指定長さ分割(中心位置指定)

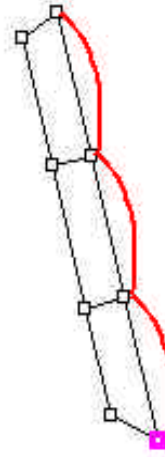


等分割

選択された部材を等分に分割します。

例、3等分に分割する場合

分割数“3”を入力し分割実行ボタンを押す



三角形分割（前）

前側の斜め部分を直角に分割します。

三角形分割（後）

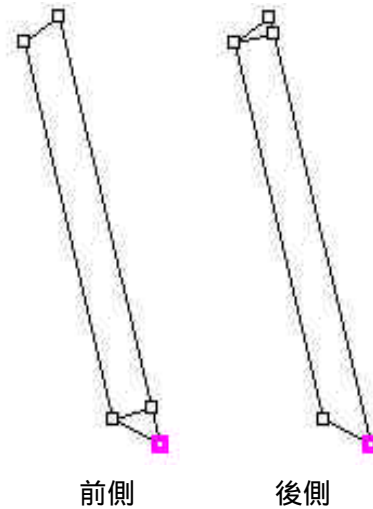
後側の斜め部分を分割します。

長さ指定&等分割（前）

前側の長さを指定長さとし、他の部分を等分割します。

例、長さ 800 の部材を 3 分割で前側の長さを 500 に指定する場合

分割数“3”を、長さ“500”を入力し分割実行ボタンを押します。



長さ指定&等分割（後）

後側の長さを指定長さとし、他の部分を等分割にします。

例、長さ 800 の部材を 3 分割で後側の長さを 500 に指定する場合

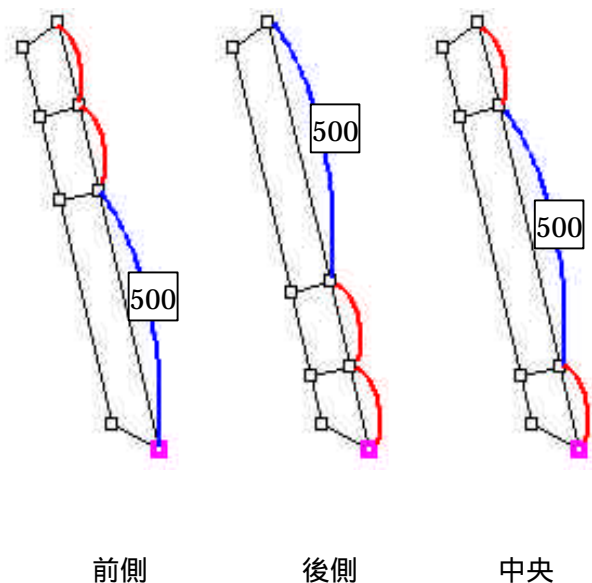
分割数“3”を、長さ“500”を入力し分割実行ボタンを押します。

長さ指定&等分割（中央）

中央の長さを指定長さとし、他の部分を等分割します。ただし、分割数が偶数の場合は分割されません。

例、長さ 800 の部材を 3 分割で中央の長さを 500 に指定する場合

分割数“3”を、長さ“500”を入力し分割実行ボタンを押します。

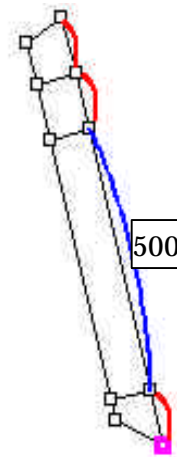


長さ指定 & 等分割 (指定)

指定部材の長さを指定長さとし、他の部分を等分割します。

例、長さ 800 の部材を 4 分割で中央の指定部材長さを 500 に指定する場合

分割数 “4”、指定部材を”2”、長さ”500”を入力し分割実行ボタンを押します。



指定長さ分割 (前基準)

部材を前側から指定長さで分割し、余りを後に取ります。

例、長さ 800 の部材を”250”ずつに分割する場合

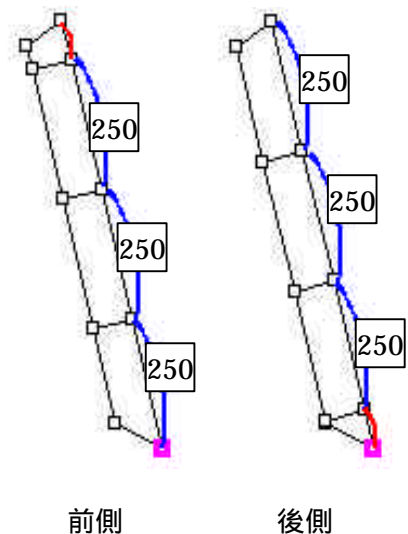
長さ”250”を入力し分割実行ボタンを押します。

指定長さ分割 (後基準)

部材を後側から指定長さで分割し、余りを前に取ります。

例、長さ 800 の部材を”250”ずつに分割する場合

長さ”250”を入力し分割実行ボタンを押します。

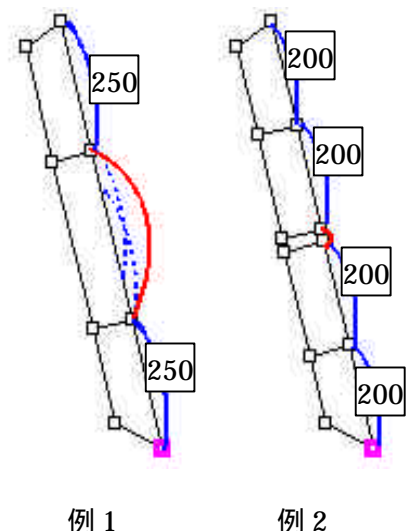


指定長さ分割 (前後基準)

部材を前後から指定長さで分割し、余りを中央に取ります。ただし、前後の分割数が同数にならない場合、中央は分割されません。

例 1、長さ 850 の部材を”250”ずつに分割する場合
長さ”250”を入力し分割実行ボタンを押します。

例 2、長さ 850 の部材を”200”ずつに分割する場合
長さ”200”を入力し分割実行ボタンを押します。

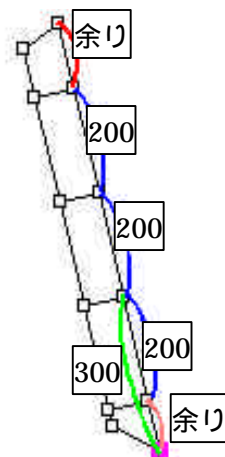


指定長さ分割（位置指定）

部材の分割位置を指定して指定長さ部材に分割します。

例、基準頂点（紫色の点）から 300 の位置を基準に 200 ずつの部材に分割する場合

前側からの距離”300”、長さ 200 を入力して分割実行ボタンを押します。

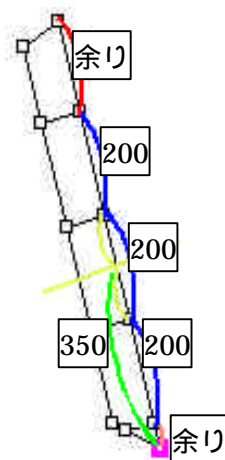


指定長さ分割（中心位置指定）

部材の中央を分割位置として指定し、指定長さの部材に分割します。

例、基準頂点（紫色の点）から 350 の位置を基準に 200 ずつの部材に分割する場合

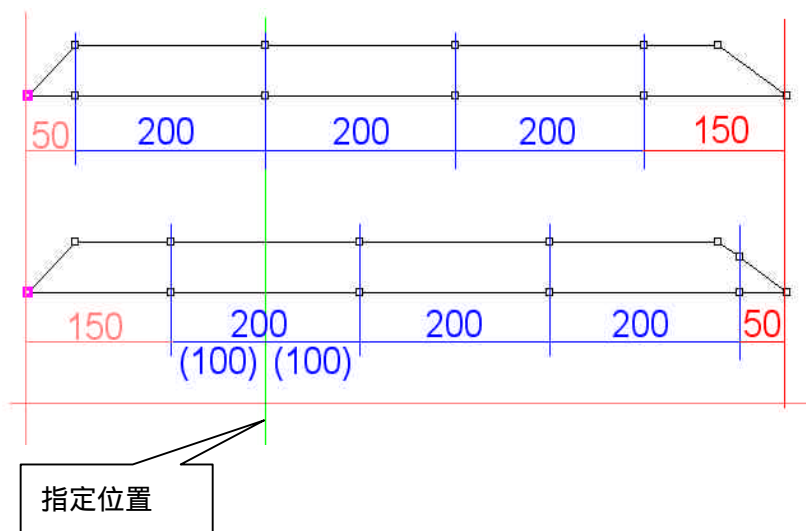
前側からの距離”350”、長さ 200 を入力して分割実行ボタンを押します。



長さ 800 の部材で、指定位置 250、長さ 200 とした場合の分割比較

指定長さ分割（位置指定）

指定長さ分割(中心位置指定)



厚み変更

選択している部材がある場合はその部材に対して厚み変更します。

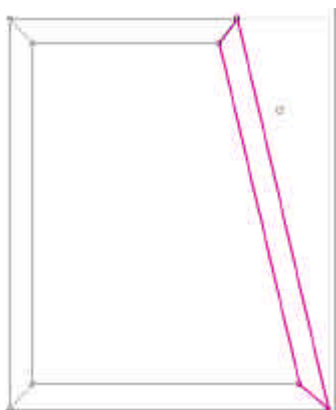
選択している部材がない場合は全部材の厚みを変更します。

また、敷地頂点が選択されている場合は、その前後（左回り）の厚み距離を設定できます。

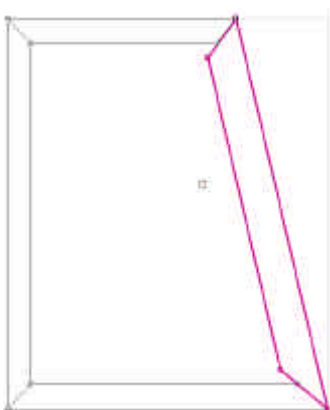
部材厚み

部材を選択後、厚み変更ボタンを押すことにより選択部材の厚みを変更できます。

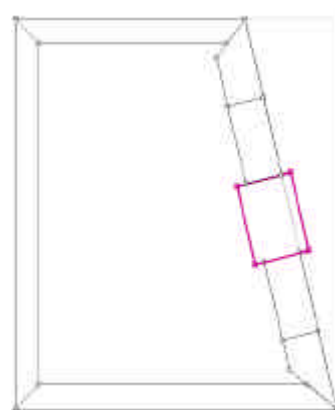
例、



選択部材の厚みを 50 から 80 へ変更



分割後に厚み、チリを変更



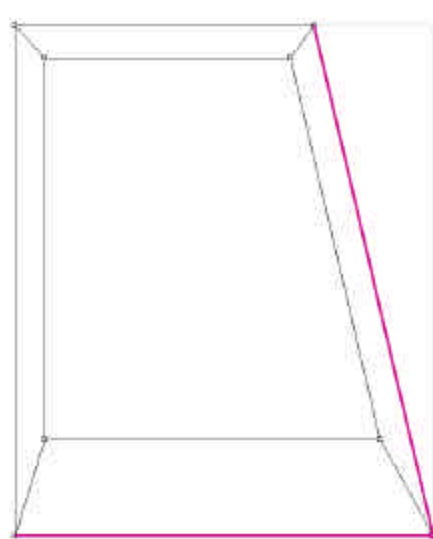
敷地厚み変更

敷地頂点を選択後、厚み変更ボタンを押すことによりその敷地頂点の前後の厚みを変えることができます。

例、



前側の厚みを 50 から 150 へ変更

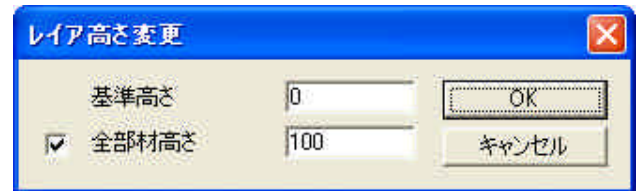


高さ変更

レイア高さ変更

なにも選択されていない状態で、高さ変更を行うと、すべての部材の高さを変更できます。また、ここで、部材の基準高さも設定できます。

基準高さのみ変えたい場合は全部材高さのチェックをはずします。



部材高さ変更

選択されている部材の高さを変更します。



MBL 作成

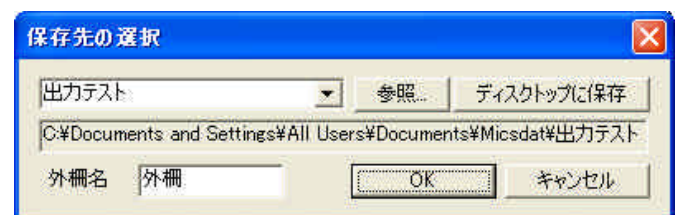
新規に MBL を作成します。

保存先を選択し、外柵名を入力します。

保存先は

保存先¥外柵名.xxx¥外柵名.mbl

となります。(xxx は保存先内の 000 ~ 999 までの存在しない最小値)

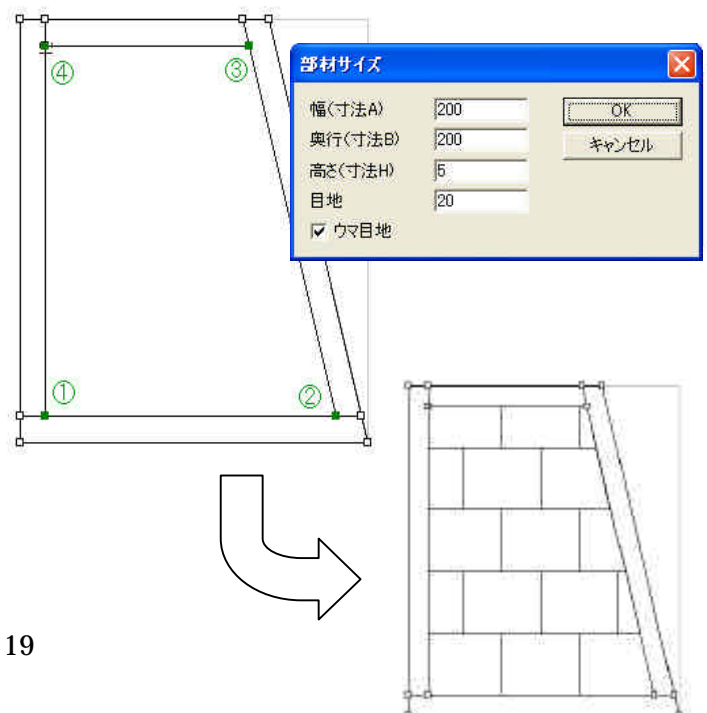


石貼

石貼エリア選択で選択した4頂点を四角形とし、その内側に長方形の部材を頂点1と2の中点を基準に敷き詰めます。

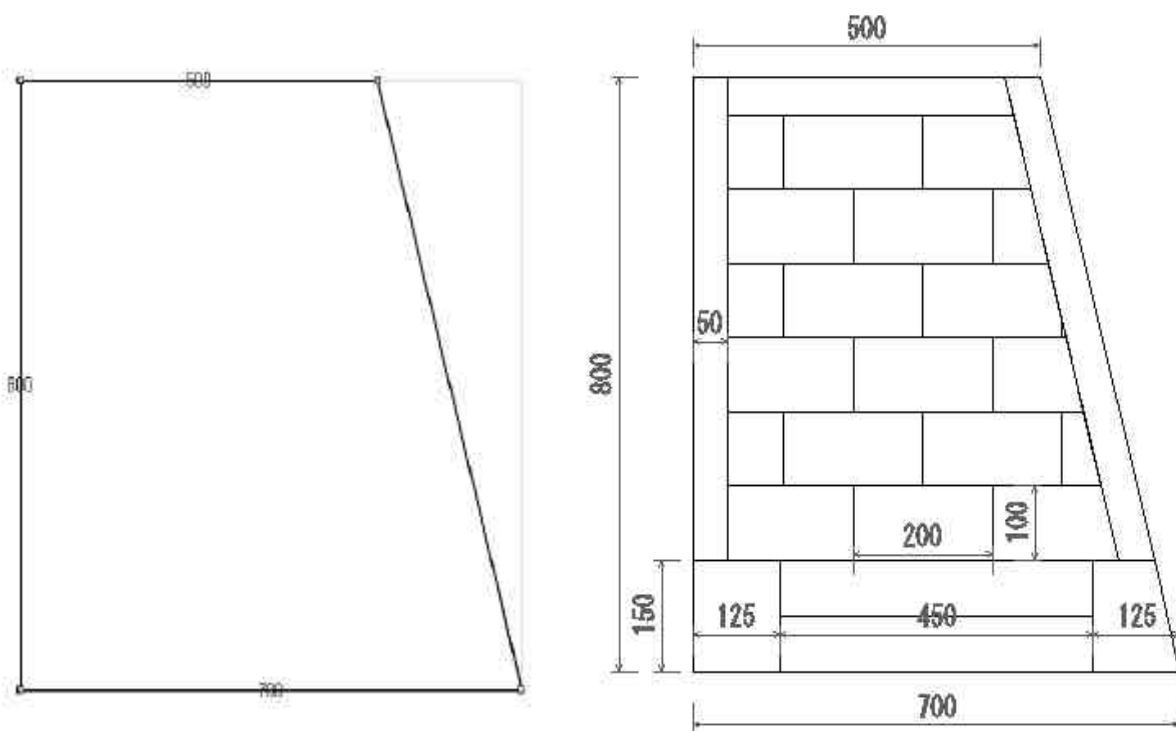
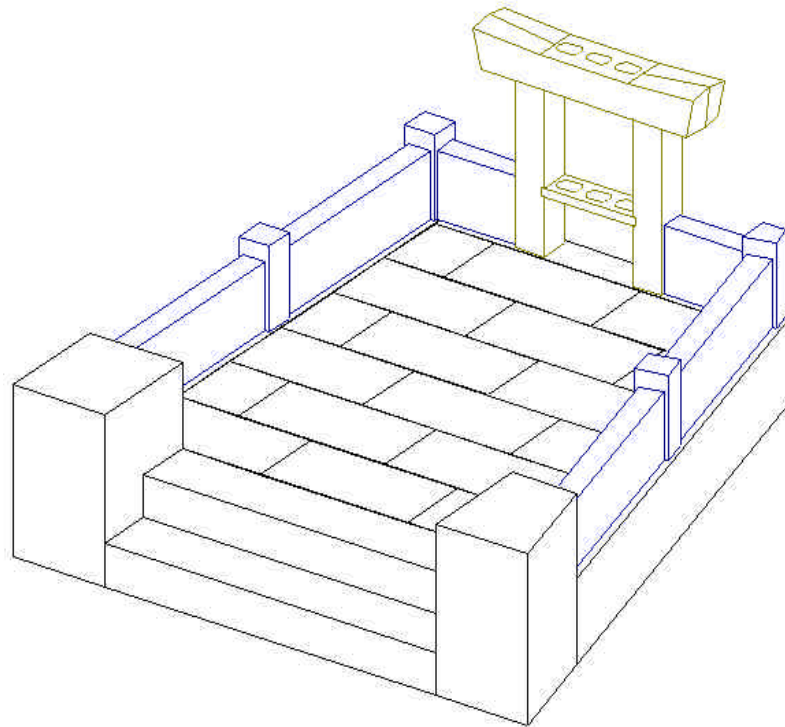
4頂点を選択すると部材サイズを入力する画面が表示されるので、1つの部材サイズを入力します。

頂点選択は左回り（反時計回り）に行います



平面設計チュートリアル(さあ、やってみよう)

下図の例題を使って、平面設計の操作手順を説明します。



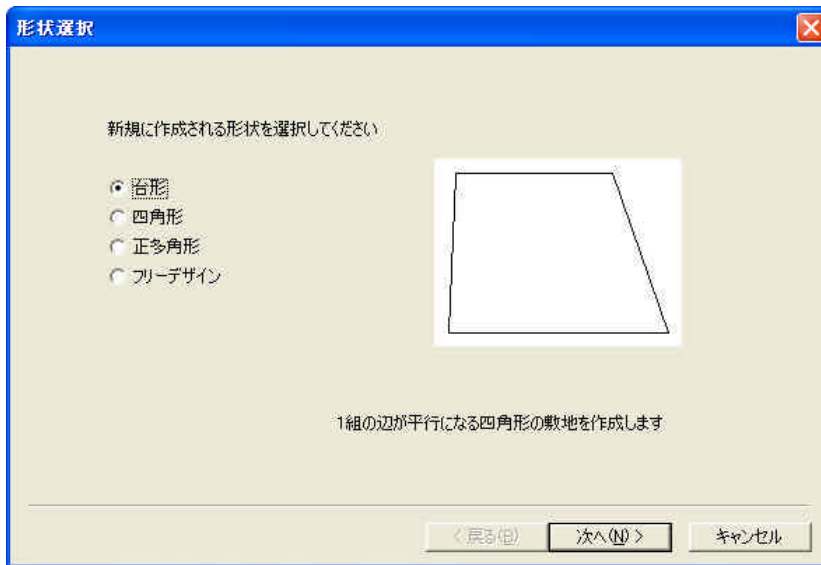
平面設計の起動

図面管理を立ち上げ、「新規設計 ...」 - 「平面設計」を選択します。

外柵管理情報を入力し、【OK】をクリックします。

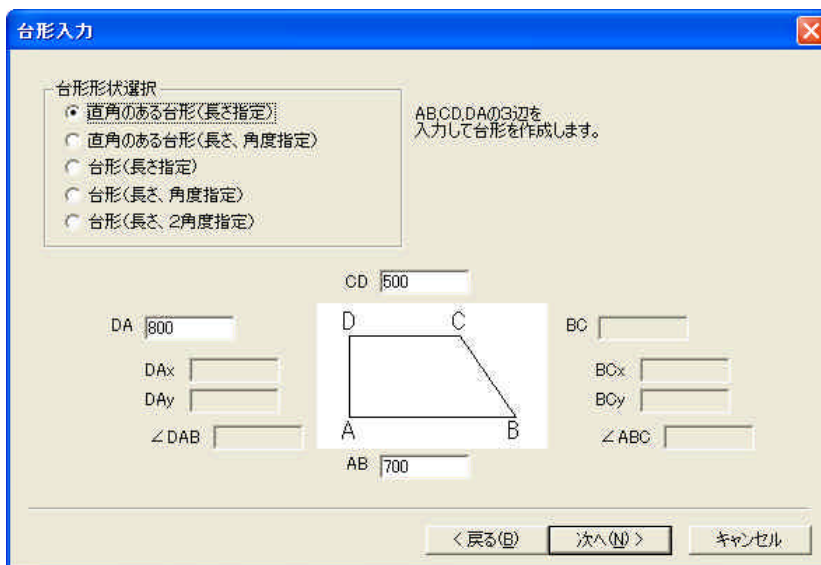
平面設計の画面が立ち上がります。

今回は「台形」の敷地を作成しますので、【台形】を選択し、【次へ】をクリックします。

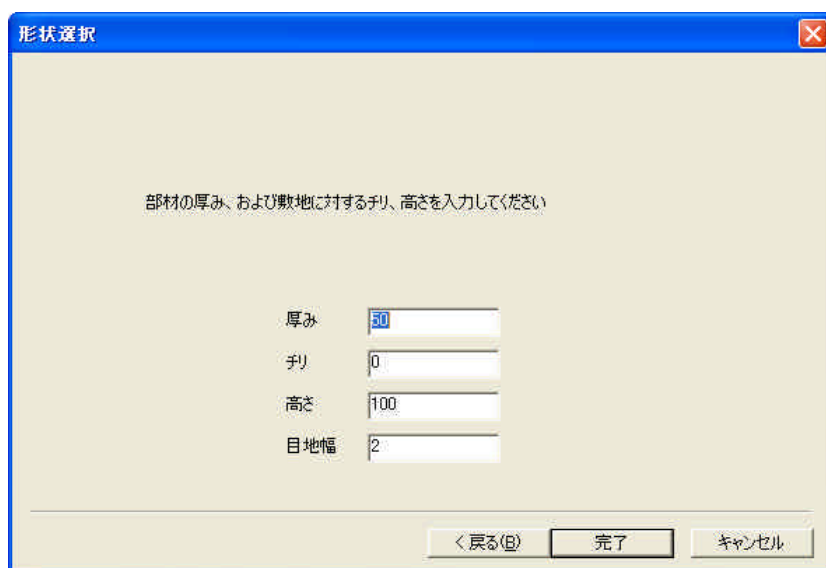


直角のある台形なので「直角のある台形（長さ指定）」を選択し、AB、CD、DA の値を入力し【次へ】をクリックします。

今回は AB : [700] CD : [500] DA : [800] を入力してください。



敷地が作成できたので、その敷地に対する厚み、チリ、1段目の高さを入力します。
今回は 厚み：[50] チリ：[0] 高さ：[100] を入力してください。



形状選択

部材の厚み、および敷地に対するチリ、高さを入力してください

厚み 50

チリ 0

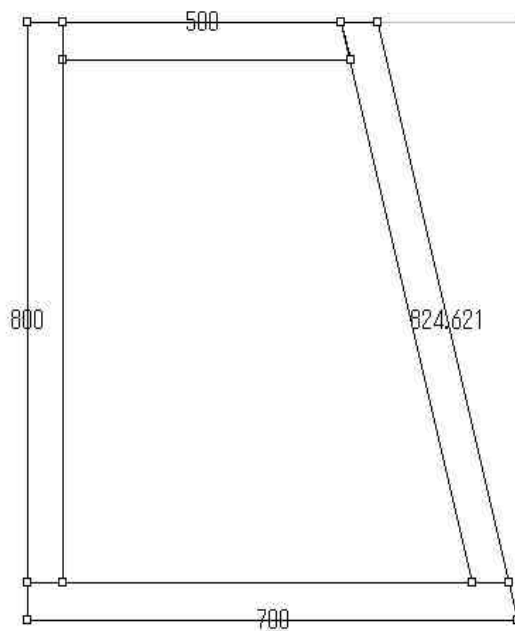
高さ 100

目地幅 2

< 戻る(B) 完了 キャンセル

入力したら【完了】をクリックします。

1 段目が作成され画面に表示されます。



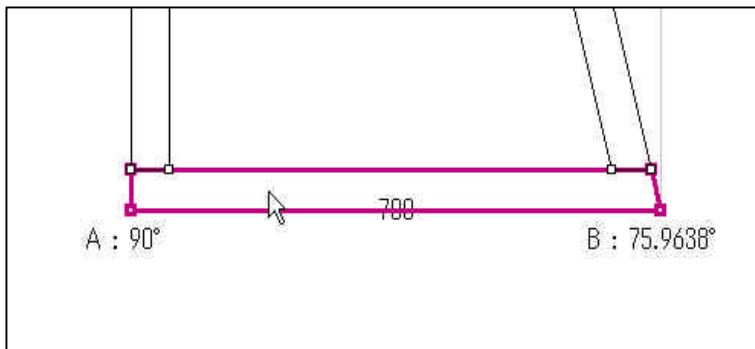
親柱の部分の作成

一段目に親柱に当たる部分を作成します。

部材を選択するために、【部材選択】ボタンをクリックします。



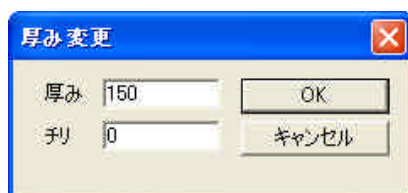
図面上の親柱を作成する部材をクリックで選択します。(選択された部材は赤紫色で表示されます。)



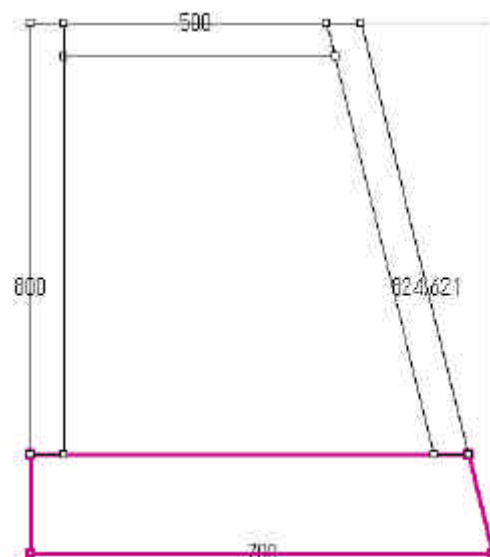
部材を選択したら、右クリックをし、表示されるメニューから「厚み変更...」を選択します。



親柱の奥行きを 150 にしたいので、厚みのところに[150]を入力し、【OK】をクリックします。



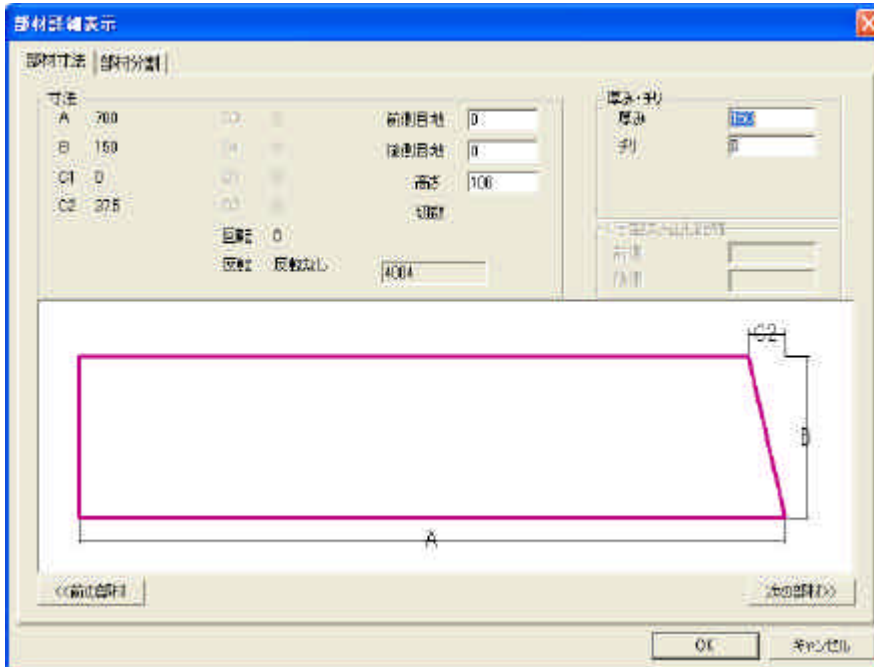
部材の厚みが変わります。



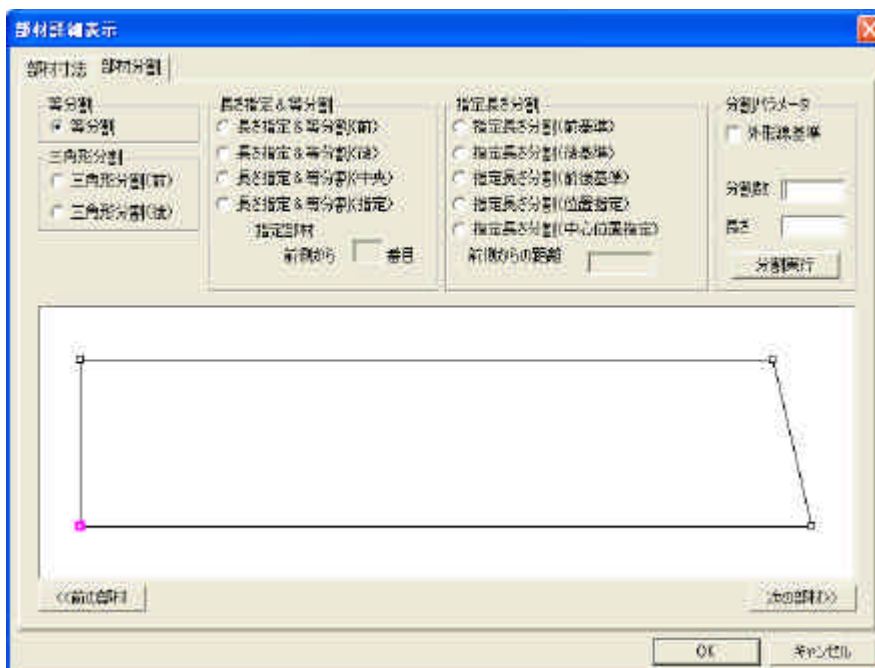
次に親柱となる部材を作成します。

部材を選択し、右クリックメニューから「部材情報...」を選択します。

選択した部材の詳細情報が表示されます。



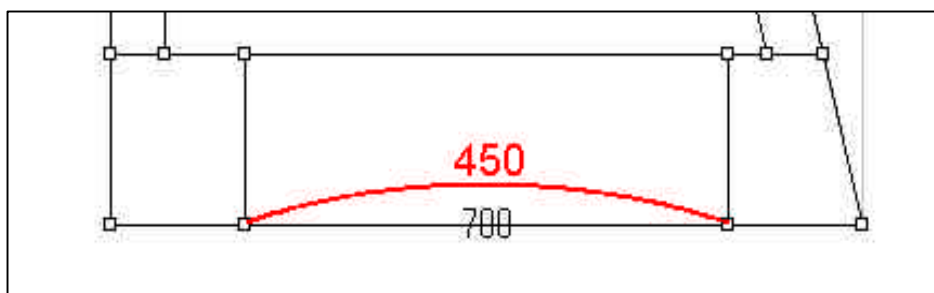
部材を分割したいので【部材分割】タブをクリックします。



敷地の中央に 450 の階段を配置したいので、分割方法を「長さ指定 & 等分割 (中央)」にし、分割パラメータを分割数 : [3]、長さ : [450]を入力し、【分割実行】をクリックし、【OK】 をクリックします。

等分割 <input type="radio"/> 等分割	長さ指定 & 等分割 <input type="radio"/> 長さ指定 & 等分割(前) <input type="radio"/> 長さ指定 & 等分割(後) <input checked="" type="radio"/> 長さ指定 & 等分割(中央) <input type="radio"/> 長さ指定 & 等分割(指定) 指定部材 前側から <input type="checkbox"/> 番目	指定長さ分割 <input type="radio"/> 指定長さ分割(前基準) <input type="radio"/> 指定長さ分割(後基準) <input type="radio"/> 指定長さ分割(前後基準) <input type="radio"/> 指定長さ分割(位置指定) <input type="radio"/> 指定長さ分割(中心位置指定) 前側からの距離 <input type="text"/>	分割パラメータ <input type="checkbox"/> 外形線基準 分割数 <input type="text" value="3"/> 長さ <input type="text" value="450"/> <input type="button" value="分割実行"/>
---	--	---	--

選択した部材が、中央を 450 とし 3 つに分割されます。



これで 1 段目の作業は終了です。

2 段目の作成

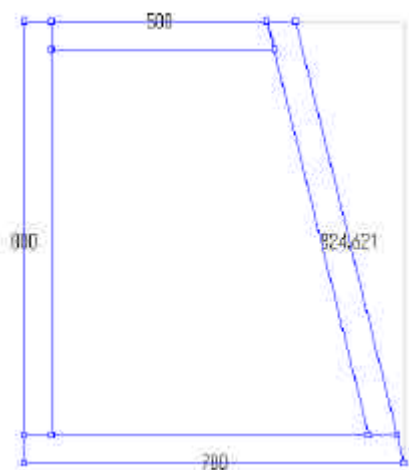
画面上の【追加】ボタンをクリックします。



基準高さと全部材高さを聞いてくるので、基準高さ[100]、全部部材高さ[100]を入力して【OK】をクリックします。

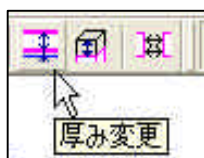


2 段目の表示に切り替わります。(2 段目は青で表示されます)



2 段目の厚み、チリを変更します。

画面上の【厚み変更】ボタンをクリックします。

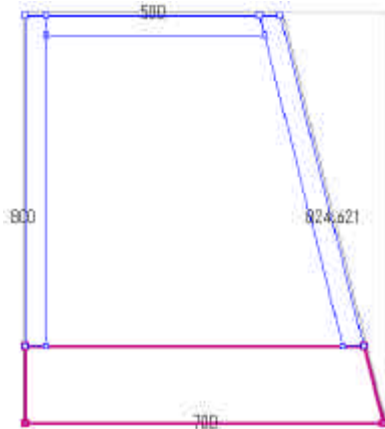


厚みを[40]、チリを[5]にして【OK】をクリックします。



一段目とあわせるために手前側の部材の厚みをさらに変更します。

手前の部材を選択し、右クリックメニューの「厚み変更」を選択し、厚み[150]、チリを[0]に設定します。



小柱部材の作成

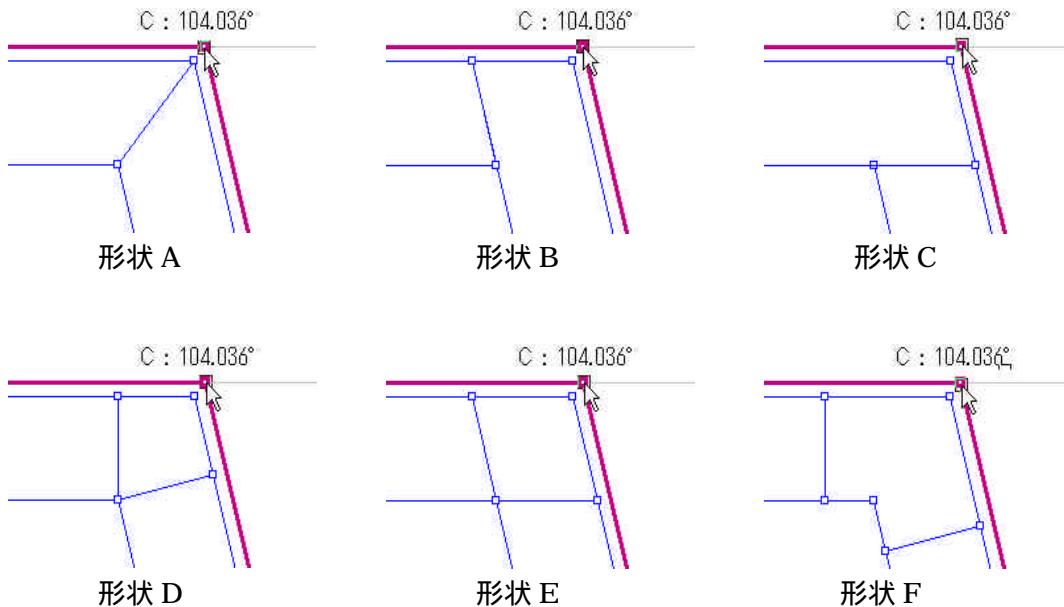
次に部材の合口形状を変更し、小柱にあたる部材を作成します。

画面上の【敷地頂点選択】ボタンをクリックします。



画面右上の敷地頂点 C をクリックするとクリックした頂点が選択されます。

選択されている頂点をもう一度クリックすると合口形状が変更されますので“形状 D”になるまで、何度かクリックしてください。



同様に、頂点 D も“形状 D”にしてください。

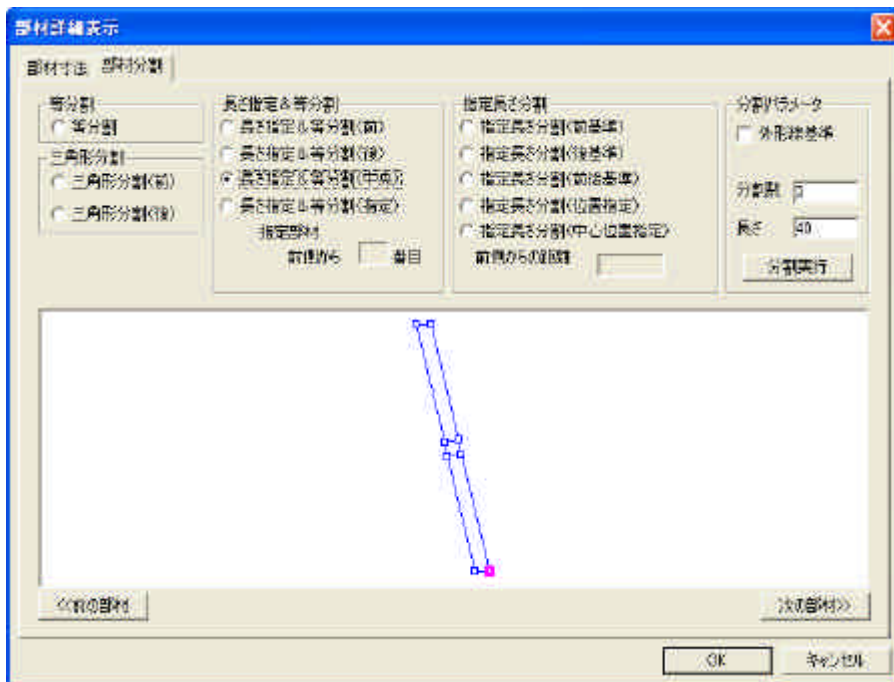


羽目にあたる部材の中間に小柱を作成します。

【部材選択】ボタンをクリックで選択し、右側の斜めの部材を選択します。

部材を選択したら、右クリックメニューの「部材情報」を選択し、【部材分割】タブをクリックします。

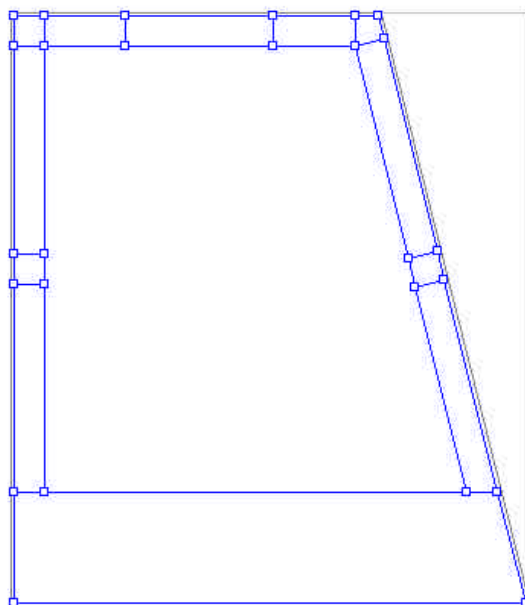
今回は中央に小柱を作成しますので、分割方法を「長さ指定&等分割(中央)」にし、分割パラメータを分割数：[3]、長さ：[40]を入力し、【分割実行】をクリックし、【OK】をクリックします。



選択していた部材が分割されます。

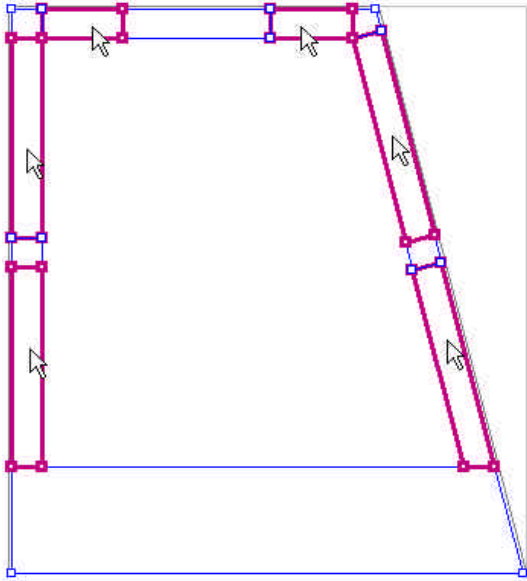
同様に左側の部材も分割します。

後側の部材は塔婆立の幅 [200]として分割してください。



羽目部材の厚みを変更します。

キーボードの『Ctrl』キーを押しながら羽目となる部材をクリックで選択していきます。



選択したら右クリックメニューの「厚み変更」を選択します。

厚みに[30]、チリに[10]を入力し【OK】をクリックします。

次に部材の高さを変更します。

画面上の【高さ変更】ボタンをクリックします。



部材高さに[80]を入力し、羽目の高さを 80 にします。

石貼の作成

外柵 1 段目に対して石貼を行います。

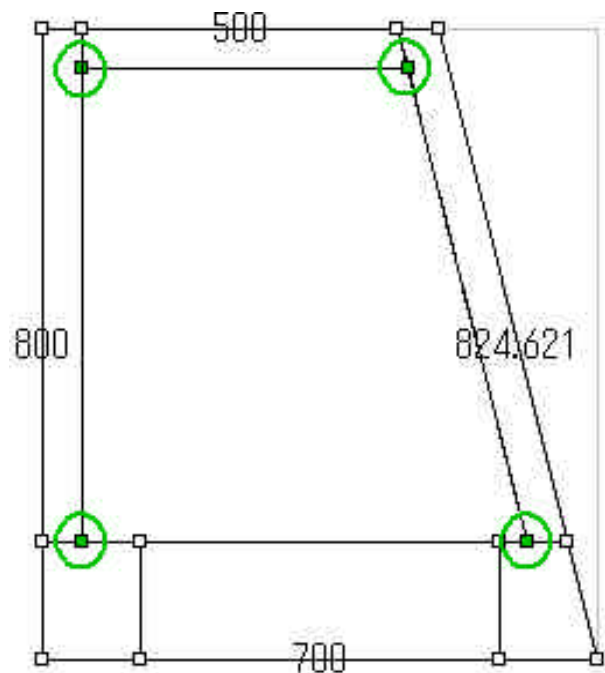
画面上のコンボボックスで「1 段目」を選択します。



【石貼エリア指定】ボタンをクリックで選択します。



次に、石貼をするエリアを 4 頂点で指定します。
今回は右図の ~ を順番どおりに選択してください。

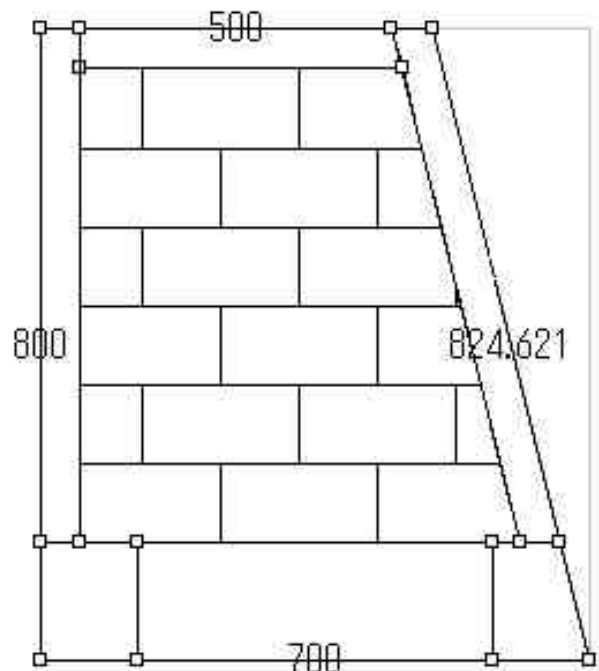


4 番目の選択が終わると寸法入力ウィンドウが表示されるので、石貼につかう 1 つの部品の寸法を入力します。

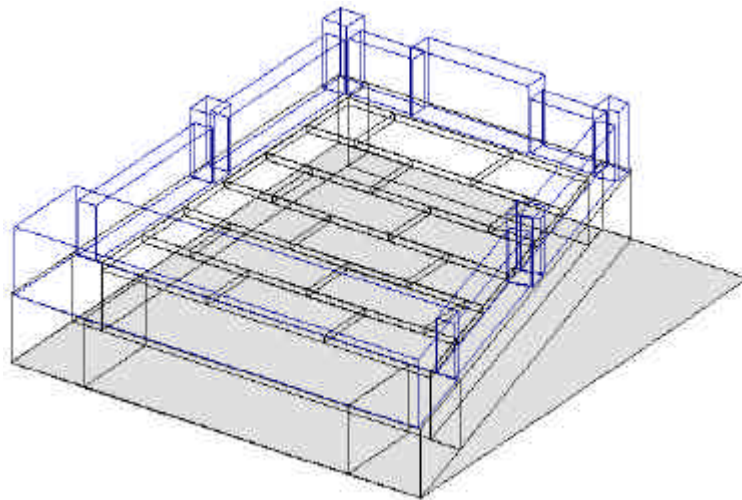
今回は幅 (寸法 A) [200]、奥行 (寸法 B) [100]、高さ (寸法 H) [10]、目地 [2] とし、【OK】をクリックすると、自動的に と の中点を基準とした石貼が作成されます。

部材サイズ	
幅(寸法A)	200
奥行(寸法B)	100
高さ(寸法H)	10
目地	2
<input checked="" type="checkbox"/> ウマ目地	

OK キャンセル



【外観図表示】ボタンをクリックして、形状を確認します。



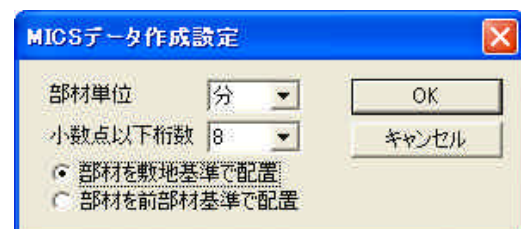
ファイルの保存

正しく出来上がっていたら、「ファイル」 - 「上書き保存」でファイルを保存します。

このとき、MBLの上書き確認画面が表示されるので、【はい】をクリックして上書きしてください。



確認画面で【はい】をクリックすると、部材単位の選択、部材の配置方法の設定ができますので、今回は部材単位を[分]、配置方法を「部材を敷地基準で配置」にして【OK】をクリックします。



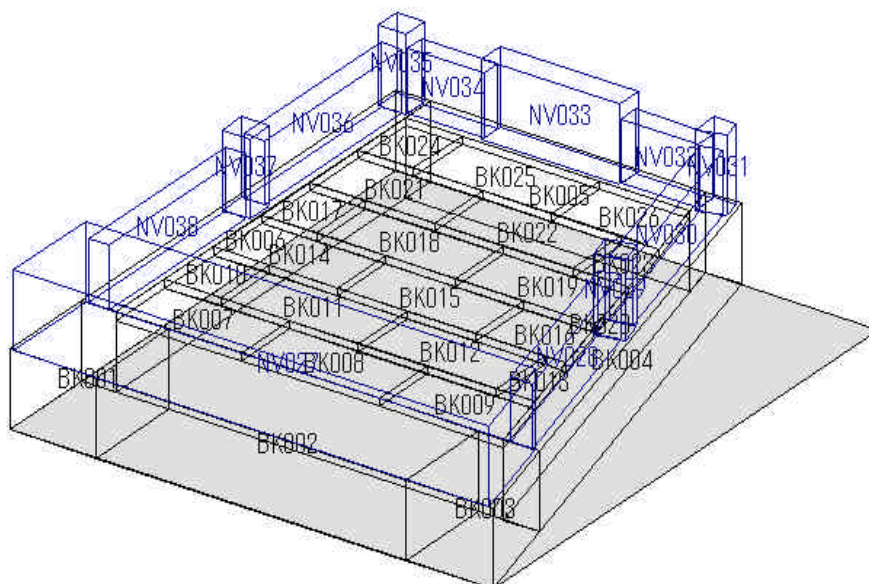
以上で平面設計上での操作は終了です。

「ファイル」 - 「アプリケーションの終了」を選択し、プログラムを終了させます。

墓石設計

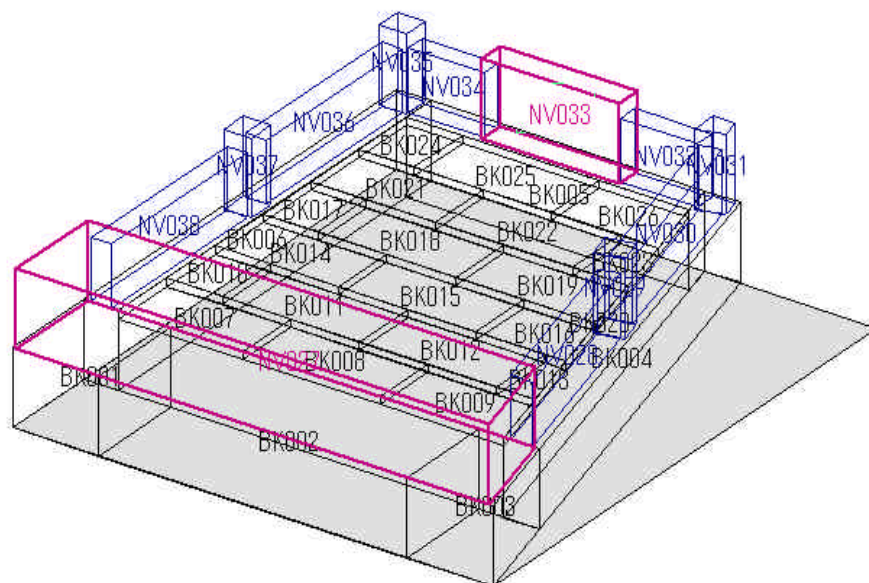
墓石設計で部材を変更します。

不必要な部材を削除し、必要な部材を変更します。



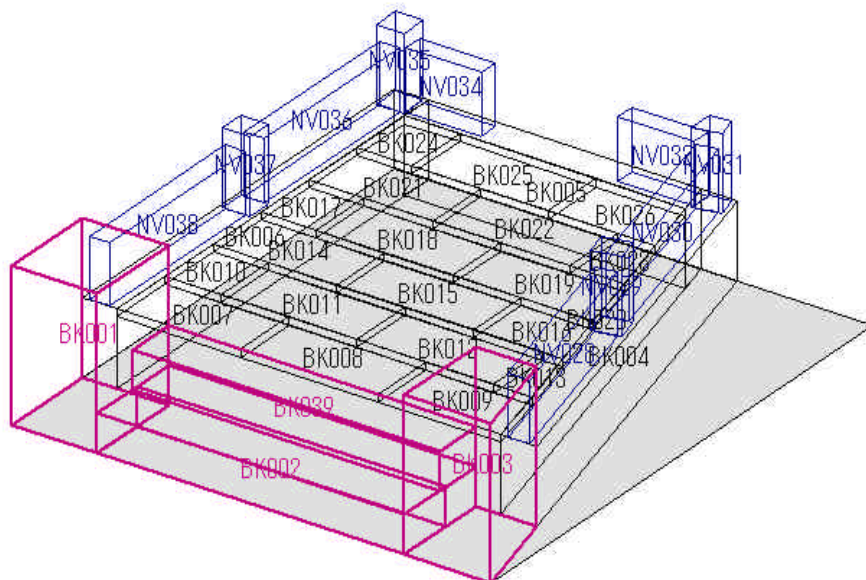
不必要な部材を削除します。

2 段目の前側の部材と、塔婆立にあたる部材を削除します。

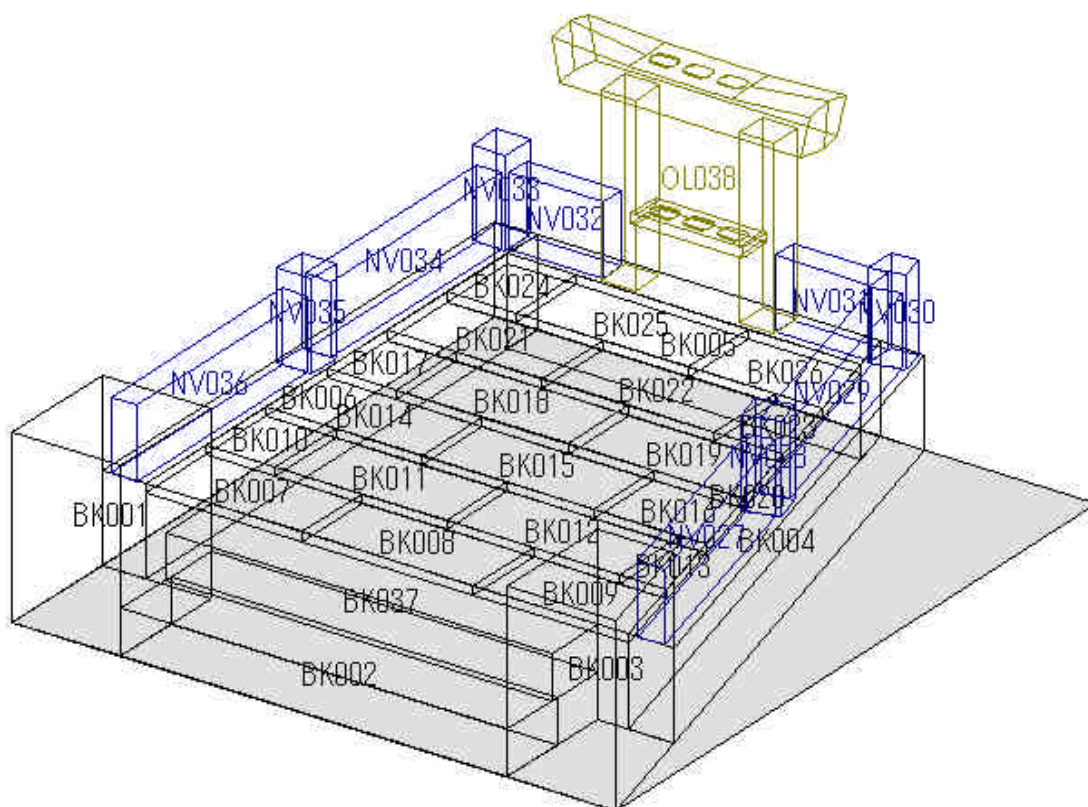


次に親柱部材と階段部材の修正を行います。

親柱部材の高さを[200]に、階段を[50]の高さで2段作成します。(各部材には敷地左手前からの移動量が設定されていますので、必要に応じて移動量を[0]にしてください)



最後に塔婆立を追加して完成です。



MICS/Pro 平面設計ユーザーガイド

2006年2月1日 第1版1刷発行

発行 **ウチダユニコム 株式会社**
東京都立川市錦町 2-1-2
〒190-0022
TEL 042-526-0722

印刷・製本 株式会社 カントー

本書を無断で複写複製(コピー)することを禁止します。
本書の内容は製品改良のため予告なしに変更される場合があります。

落丁・乱丁はお取り替えいたします。